

第1章 センターの概要

第1節	概要	14
第2節	運営へのご支援	15

第1節 概要

施設名	大阪コロナ重症センター Osaka COVID-19 Critical Care Center (略称: OC4)
運営者	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
設置場所	大阪市住吉区万代東3丁目1-56 大阪急性期・総合医療センター敷地内
根拠法令	医療法における処置室等として届出し、医療法施行規則第十条ただし書き(臨時応急時の病室外入院)の適用により入院
設置目的	府内重症病床ひっ迫時における三次救急医療機関のバックアップ ※三次救急医療機関からCOVID-19重症患者を受入れ、三次救急医療機関における新たな患者の受入れ病床を確保
病床	重症病床 30床 (全病床に人工呼吸器を配備(体外式膜型人工肺は配備なし)) ※令和4年(2022年)8月10日以降、感染拡大期における非挿管患者の入院受入れを拡大(重症病床と合わせて最大45床)
入院患者受入基準	主に「人工呼吸管理が必要(非ECMO)かつ症状の安定した患者」を受入れ ※令和4年(2022年)4月6日以降、非挿管患者の入院受入れを開始(重症病床のひっ迫時を除く。) ※令和5年(2023年)1月6日から2月6日の間、感染拡大による救急医療負担軽減のため、受入れを挿管患者に限定
設置期間	令和2年(2020年)11月30日から令和5年(2023年)3月31日 ※令和2年(2020)12月15日から入院患者の受入れを開始
整備手法	大阪府が整備した施設を大阪府立病院機構に転貸 施設: 軽量鉄骨造(プレハブ工法) (集中治療ユニット棟、CT棟、スタッフサポートユニット棟など 計6棟)
運営体制	大阪急性期・総合医療センターの管理運営のもと、府内医療機関等からの派遣(在籍型出向)等により体制を確保
のべ入院患者数	533人(挿管患者387人・非挿管患者(他疾患重症等)146人 ※入院時点の状況)
運用病床数平均	20.4床
病床利用率平均	56.6%



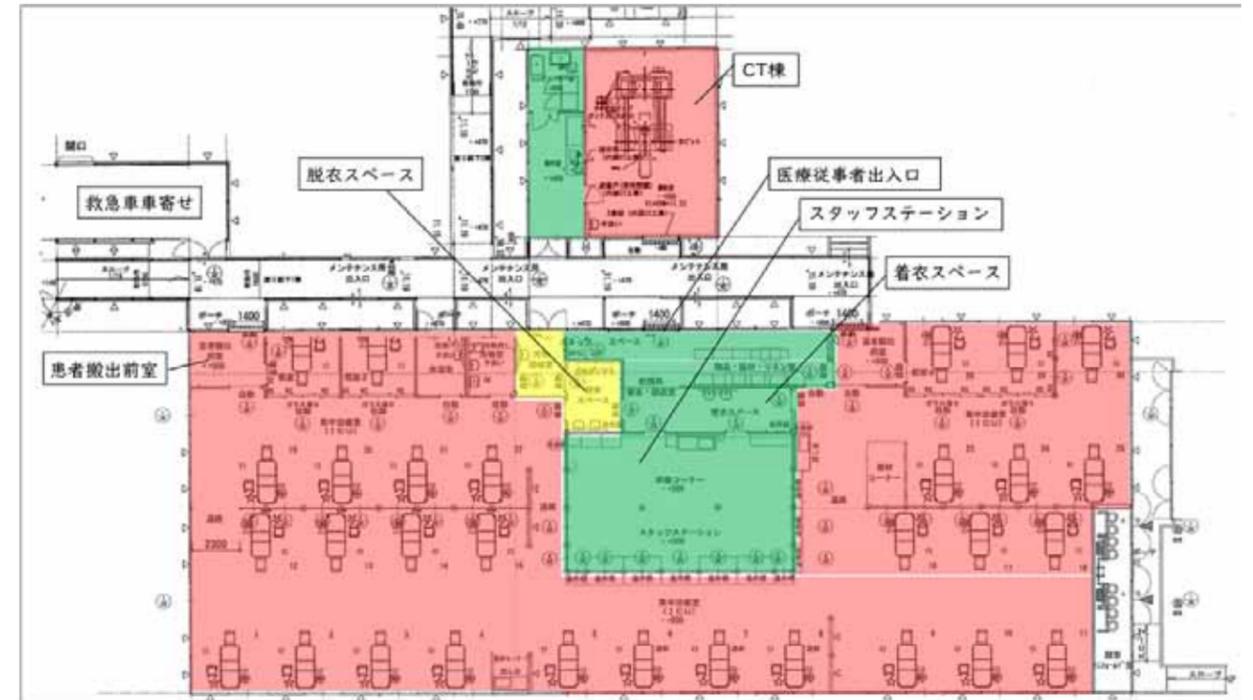
施設全体

第2節 運営へのご支援

「大阪コロナ重症センター」の運営にあたっては、運営に必要な人員を確保するため、国、自衛隊、全国知事会、関西広域連合、大阪府看護協会などからお力添えをいただき、大阪府内をはじめ、全国の医療機関等から医療従事者を派遣いただきました。「大阪コロナ重症センター」に医療従事者を派遣していただいた医療機関、また、勤務いただいた医療従事者の皆さまの御協力により運営できたこと、心より感謝申し上げます。

職種	医療機関数	のべ派遣人数
医師	11機関	142人
看護師	124機関	512人
診療放射線技師	2機関	37人
臨床工学技士	1機関	1人
医療ソーシャルワーカー	2機関	3人

集中治療棟・CT棟平面図



集中治療棟内



集中治療棟内(個室)



スタッフステーション